

VII 教育課程・修了要件

1. 教育課程の編成

授業科目、単位数、必修・選択の別、各科目が属する科目群、担当教員等は、次ページの表「教育課程及び担当教員」のとおりです。

2. 学 位

修了を認定した者には、本学の学位規程に基づき修士（教育学）の学位が授与されます。

3. 修了要件

修士の学位を得るためには、所定の修業年限（2年）を終え、所定の単位を修得した上で、大学院の行う修士論文の審査及び修了認定試験に合格しなければならない。

(1) 修了単位数

授業科目の中から必修科目 12 単位を含む 30 単位以上を修得し、選択科目の単位については教育学研究科目の各領域からそれぞれ 8 単位以上を修得しなければならない。

(2) 修士論文の審査及び合否決定について

ア 修士論文題目届の提出

審査を受けようとする者は、審査を受けようとする年度の 5 月末までに、所定の「修士論文題目届」を提出しなければならない。

イ 修士論文及び要約の提出

審査を受けようとする者は、題目届けを受理された上で 1 月末までに修士論文（正本 1 部）と修士論文要旨（1 部）を提出しなければならない。

ウ 修士論文の審査・合否決定

修士論文の審査については、審査委員の報告に基づき研究科委員会が修士論文及び課程修了の合否を決定する。

教育学研究科子ども教育専攻		修了要件		形態	開講期及び時間数								資格		担当教員		
科目区分	科目名	単位数	必修		選択	1年次				2年次				幼稚園教諭		小学校教諭	
						前期		後期		前期		後期					
						単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間				
教育学研究科 教育実践・表現に関する研究領域	教育原論特論	2	○		講義	2	2							○	○	川野	
	教育課程特論	2		○	講義	2	2							○	○	松村	
	教育方法特論	2		○	講義			2	2					○	○	川野	
	教育心理学特論	2	○		講義					2	2			○	○	田邊	
	発達心理学特論	2		○	講義	2	2							○	○	大田	
	発達臨床心理学演習	2		○	演習			2	2					○	○	大田	
	福祉・教育特論	2		○	講義						2	2		○		佐藤	
	特別支援教育特論	2		○	講義			2	2					○	○	松田	
	東アジア文化論	2		○	講義			2	2							岡村	
	幼児教育特論	2		○	講義	2	2							◎		松村	
	小学校授業実践特論	2		○	講義			2	2						◎	上田	
	小学校授業実践特論演習	2		○	演習					2	2					○	上田
	表現活動指導演習	2		○	演習					2	2					○	本廣
	歌唱表現特別演習	2		○	演習			2	2						○	坂本	
	歌唱文化特別研究	2		○	演習					2	2				○	坂本	
	鍵盤表現特別演習	2		○	演習	2	2							○		本廣	
	造形表現特別演習	2		○	演習					2	2				○	武田	
	わらべうたの研究	2		○	演習						2	2		○		坂本	
	郷土の美術研究	2		○	演習						2	2		○		武田	
	第二言語習得研究	2		○	演習	2	2								○	二五	
教育情報科学特論	2		○	講義	2	2										三池	
専門研究科目	教育特別研究Ⅰ	2	○		演習	2	2									大学院担当教員	
	教育特別研究Ⅱ	2	○		演習			2	2							大学院担当教員	
	教育特別研究Ⅲ	2	○		演習					2	2					大学院担当教員	
	教育特別研究Ⅳ	2	○		演習						2	2				大学院担当教員	